

令和2年度 第1回 御代田町総合教育会議 会議録

招 集 年 月 日	令和2年8月28日(金)	
招 集 場 所	エコールみよた 大会議室	
開 閉 会 時 の 日 時	開 会	令和2年8月28日(金) 午後3時30分
	閉 会	令和2年8月28日(金) 午後4時30分

意見交換

(1) スマホ、タブレット、ゲーム機等に関するアンケートについて
(2) 公設学習塾「夢サポ塾(夢サポート塾)」の開講について
(3) GIGA スクール構想の実現によって大きく変わる教育について

出席者の職氏名

職 名	氏 名	職 名	氏 名
御 代 田 町 長	小 園 拓 志	教 育 委 員	市 川 美 香
教 育 長	茂 木 伸 一	教 育 委 員	中 山 梨 恵 子
教 育 長 職 務 代 理	柳 澤 政 弘	教 育 委 員	屋 代 司

説明のため出席した者の職氏名

職 名	氏 名	職 名	氏 名
教 育 次 長	木 内 一 徳	社 会 体 育 係 長	相 澤 昇
参 事 兼 博 物 館 長	堤 隆	図 書 館 係 長	大 井 る み 子
生 涯 学 習 係 長	大 井 敏	学 校 給 食 係 長	藤 卷 祐 子
学 校 教 育 係 長	小 平 佳 伸		

職務のため出席した者の職氏名

書 記	井 部 優 理
-----	---------

傍聴人

0 人

第1回 御代田町総合教育会議 会議録

1. 開会

木内教育次長

開会あいさつ

2. あいさつ

小園町長

教育委員の皆さんには、ご多忙のところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

総合教育会議につきましては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づきまして、わたくし町長と教育委員会とがより連携し、教育行政のさらなる充実を目的に設置されています。今年度も一層のご協力を賜りまして、本日の議題である「スマホ、タブレット、ゲーム機等に関するアンケート」や、「公設学習塾の開講」などについて、忌憚のないご意見を出していただき、より良い語らいの場となることを期待しています。

茂木教育長

この総合教育会議もだいぶ通例化されてきたように感じます。ここで協議されたことが町の教育施策に反映される部分も多くあります。町長を交えた意見交換のできるこの場を大切にしたいと思います。わずかな時間ではありますが、忌憚のないご意見をお願いいたします。

3. 意見交換

(1) スマホ、タブレット、ゲーム機等に関するアンケートについて

茂木教育長

御代田町は昨年度から全県に先駆けて電子メディアの使用に関して子どもたちにアンケートを行っております。今年度も行いようやく比較ができるようになりました。

県の情報交換会があり、全県の市町村の参考となるよう依頼を受け、8月31日に御代田町の取り組みの発表を行うことになりました。その資料となりますので中身についても知りたいと思います。

ご承知のように GIGA スクール構想が前倒しとなり今年度末までに全国の多くの市町村に配備が進みます。機器の扱い等については細かな決まりができていくと思いますが、電子メディアとどう付き合うかというのは、保護者の協力なくして実現できるものではありません。早め早めに心構えや体制づくりを町

の方でしていきたいと思います。条例化して規制的にやるということは、私たちが考える「心の内側から気を付ける」ということにはつながりません。それですべて網羅できるわけではありませんが、しかしそこを一番大事にしていきたいということで、昨年度以来校長会とも協力して進めてまいりました。

スマホ、タブレット、ゲーム機等に関するアンケートについて、資料に沿って説明。

屋代委員

やはり、啓蒙・教育は大切だと感じます。まだ子どもたちの多くはインターネットに触れる機会が少ないと思いますが、慣れてくればもっと使うようになります。この取り組みは続けていった方が良いでしょう。

柳澤職務代理

定期的な調査をこれからもしていくと思いますが、どれくらいのスパンで実施しますか。

茂木教育長

年度当初、年1回行う予定です。場合によってはそれ以外の時期に実施することも必要になってくるかもしれません。

中山委員

自分たちの宣言だからもう一度考え直そうとか、日曜日にしようといった、子どもたちから出た意見、というのが良いと思いました。せっかく良い宣言ができたので、宣言だけで終わらせることなく、啓発活動を続けてほしいです。

小園町長

今後も続けていただきたい。アンケートを1年に1回定期的に積み重ねていく中で啓発活動の効果も出てくるのではないのでしょうか。自分たちの町のために続けていくのはもちろん、他の自治体の参考になるような取り組みにまで成長していくことが課題になると思います。今後もこの子どもたちの思いによって作られたこの宣言を生かす形で取り組みを続けていただければありがたいです。

(2) 公設学習塾「夢サポ塾(夢サポート塾)」の開講について

小平学校教育係長

公設学習塾「夢サポ塾(夢サポート塾)」の開講について、資料に沿って説明。

市川委員

夢サポ塾は英語と数学の2科目なのに、どうして事前テストは5科目なのですか。

小平学校教育係長

その子の全体の学力をみて、どこが弱いかわけたいとのこと。

屋代委員

映像授業のどの範囲をやりなさいという指示のためでもあると思います。委託業者が決まった決め手は何ですか。

小平学校教育係長

事前に佐久地区にある民間教育機関に「こういう事業がした

い」という声かけをし、事業に対する提案があった3社によるプロポーザルの結果で決まりました。コロナウイルスの影響で学習の方法が変わっていく中、臨機応変に対応でき、実績もある事業者が良いということになりました。

小園町長

民間委託による公設学習塾の実施については、私の方でもぜひやっていただきたいという中で、当初から予算をつけてお願いしてまいりました。地域の塾に受託してもらいたいという気持ちを持ってプロポーザルに臨みましたが、もともと実績を積みまれている事業者と、ほぼ初めての試みという業者があり、プロポーザルで公平に見てしまうと差が大きくなりました。むしろ他社には長野県のトップを担う学習塾としての気概をもって、もっとシステムティックに取り組んでもらいたいし、できれば近い将来地元でお願いできる日が来れば、その方が良いと思っていますが、現状ではなかなか難しく、公平に審査した結果で委託業者が決定しました。

2科目、5科目の点ですが、十分なケアができるかどうかは別として、進路を考えるときに、教えるのが2科目だから2科目見ればよいかということ、そうではありません。家庭教師の経験がありますが、必ず全科目について確認しました。お願いされている教科よりこちらの教科のほうが弱いことが分かれば、逆に親御さんをお願いして、こちらの教科を教えさせてくださいと言ったこともありました。どれだけ細かいことができるかやってみないと分からないところがありますが、一人ひとりのお子さんに向き合うことを考えると、教える教科以外も把握しておくことが役に立つ場面があるのではと私自身は想像しております。

3年生にとって、3年生は今年しかないので、試験的にあれこれとやってみますというのが、本当にお子さんの役に立つのか、場合によっては疑問に思うこともあります。3年生にとっては毎年が本番ではありますが、役場として教育委員会としては、知見を高めてより良い形にしていくのが良いのではないかと思います。

柳澤職務代理

今年度は中学3年生をターゲットにしますが、将来的に2年生から、と財源的なところをしっかりと確保して、模索していくのが良いと思います。3年生だけでは勿体ないと感じました。

小園町長

今年度は中学3年生が不利となる状況下ですので、中学3年生

を対象にするというのはマッチすると思いますが、個人の思いで言えば中学2年からの対策が必要だと感じます。また、受験突破が目的ではないと思います。高校に行く、という目的であればほとんどのお子さんがどこかの高校へ進学します。そういうことよりも、義務教育の仕上げとして、義務教育を全うして、中身をきちんと理解してその後の人生につなげてもらう方が大事ではないかと思います。大学入試も一生懸命にやりますが、入試を突破するテクニック以外の学びのほうが私の中では大きかったと思います。

(3) GIGA スクール構想の実現によって大きく変わる教育について

茂木教育長

コロナ禍によって浮き彫りになったことがあります。学校の存立意義や集団で学ぶ意義など、新聞を見ている中で象徴的に言えることだと思います。またそこから見える課題もあります。オンラインで学習が可能だったのはわずかな学校だけです。そんなことから、国のGIGAスクール構想の前倒しがされました。

御代田町では先行して中学3年生にタブレットを配備しています。eライブラリや、スタディサプリも接続できるようになりました。それらを利用して学ぶ子どもたちが増えており、タブレットが配備された中学3年生は抵抗感なく操作に習熟していています。学習に配慮を要する子どもがeライブラリを積極的に利用する姿も見え、学習の個別最適化の重要性が感じられます。今後、使い方の基礎を学ぶ機会や、教員が使いこなしていくための研修が必要です。日常の授業における文房具のように、必須アイテムとして端末が使われる授業のあり方の模索などが求められます。

屋代委員

個別最適化の教育の方向へ向かっていくと思います。

少し違う話ですが、今回コロナ禍で学習が途絶えて、これらの対策は緊急的に行われたものと思いますが、また、第2波第3波や来年再来年と違うウイルスが蔓延しないとも限りません。その時に防災のような感覚で準備をしておくことが必要ではないでしょうか。防災でしたら避難所を設けておいて、災害が来たらここへ逃げてくださいというようになっていると思います。それと同じように教育も、コロナ禍のようなことが起こったときに、ネット上に町の避難所のようにソフト上のプラットフォームを置いておいて、アクセスする先を作っておくことが

必要だと思います。タブレットがあるか無いかは問題ではありません。いざタブレットが手に入ったときにそこへアクセスして勉強が続けられるシステムがあればよいと思います。普段は使いたい子どもが使ってもよいし、有事の際は全員がそこへアクセスして勉強が続けられる、そういう構想や計画が必要ではないでしょうか。今から考えておけば、また同じことが起きたときにもっと良い対応ができると思います。防災のような感覚があったらよいと思います。

小園町長

ありがとうございます。今のお話は非常に魅力のあるお話で、防災には避難所がある、というのは本当にそうで、教育避難所というか、オルタナティブな手段を常に横に用意し続けておく、しかもその横には普段から利用している子どもたちがいるというのは、魅力があることだと感じました。学校の先生方のご協力が必要だとかいろいろな要素がありますが、これから私は防災について力を入れていくつもりですし、どうやって密を避けるかというコロナ禍での避難所のあり方も考えていく必要があります。教育についても同様に教育の避難所というものが必要というのはその通りだと思います。

佐賀県の武雄市はスタディサプリの導入も早くからしていて、中学校や教育委員会が相当市長の考えに協力しながらいろいろな取り組みをしています。屋代委員がおっしゃったことの一部を市がケアしようとしているという動きを感じます。1から10までをオリジナリティを持ってやるというよりは、ある意味「いいとこ取り」をしながら、もちろん精神・背骨はこちらでしっかりと持って、具体的な手法はいろいろな自治体を真似て省略化しながら、スピード感を持ってやることもできるのではないかと思います。遠くない未来に第2波第3波と来る可能性もあります。ご意見をかなり深く受け止めて、次にどういったことができるのか考えていきたいと思っています。

4. 閉会